

EA916X-22
ショルダー型メガホン

仕様 通達距離...音声 約400m、ホイッスル 約500m
定格出力...15W (最大23W)
電源...単2電池 6本
 又は、単3電池 6本
 (電池アダプター使用時)
電池持続時間...単2 約9時間 ホイッスル20分
 単3 約3時間 ホイッスル10分
ホイッスルスイッチ付

サイズ... 210×310mm
重量...本体 約910g (電池含まず)
 マイク 150g
抗菌仕様
付属品...単2 単3電池アダプター × 3個
材質...ABS樹脂
電池は付属しておりません



電池アダプター装着前
(単2電池使用時)



電池アダプター装着後
(単3電池使用時)

電池アダプター

上から見たところ



下から見たところ



電池アダプターを使用することにより、単3電池での使用が可能になります。
単2電池と単3電池の併用はできません。万が一使用の場合は故障の原因となりますのでお気を付け下さい。

■ 概要

本機は、単2形・単3形乾電池*の2種類が使用できる、定格出力15 Wのマイクロホン分離型のシールド型メガホンです。

ホイッスルスイッチが付いています。

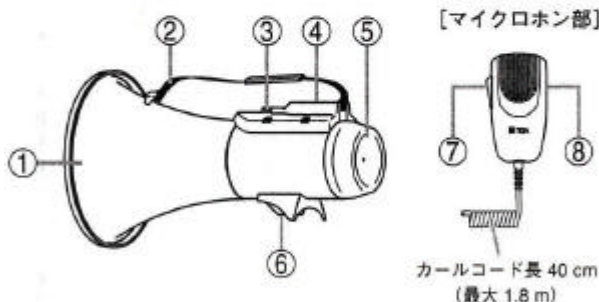
スピーカースタンド (別売品) に取り付けることができます。マイクロホン部は抗菌処理を施しているので、衛生上、安全に使用できます。

* 単3形乾電池を使用するときは、付属のバッテリーアダプターが必要です。

■ 使用上のご注意

- 本機は防水構造になっていません。雨など水滴がかかるような場所では使用しないでください。
- 万一、次のような異常が起きたら、販売店にご相談ください。そのまま使用すると故障の原因となります。
 - ・煙が出ている、変なにおいがするとき
 - ・内部に水や異物が入ったとき
 - ・音が出ないとき (電池が正しい方向に挿入されており、消耗もしていないことを確認後)
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- 長時間電池を入れたままにする場合は、電池が切れていないか、液漏れしていないかなどを定期的に点検してください。
- 長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。メガホン内部が発熱し、故障の原因となることがあります。
- 本機の近くで携帯電話などを使用すると、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。携帯電話などは本機からできるだけ離れて使用してください。
- ケース外部の汚れの清掃には、水に濡らして固く絞った布を使用してください。また、ひどい汚れには、中性洗剤をしみこませて固く絞った布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類などは絶対に使用しないでください。ケースの変形や変色の原因になります。

■ 各部の名称とはたらき



- ① スピーカー (ホーン部)
- ② ベルト
持ち運ぶときや拡声するときに、肩にかけて使用します。(長さ: 約1 m)
- ③ マイクハンガー
マイクを使わないときは、この部分に差し込んで固定してください。
- ④ 信号音スイッチ
押すとホイッスルが鳴り、離すと止まります。
- ⑤ 電池カバー
内部に電池収納部があります。電池交換で、開けるときは反時計方向に回し、閉めるときは時計方向に回します。
- ⑥ スピーカースタンド取付穴
底面にあるねじ穴にスピーカースタンド (別売品) を取り付けることができます。
- ⑦ トークスイッチ
押すと電源が入り、拡声できます。離すと電源が切れます。
- ⑧ ボリューム
上の方へ回すと、音量が大きくなります。

メ モ

ホイッスルの音量は一定です。ボリュームで変化しません。



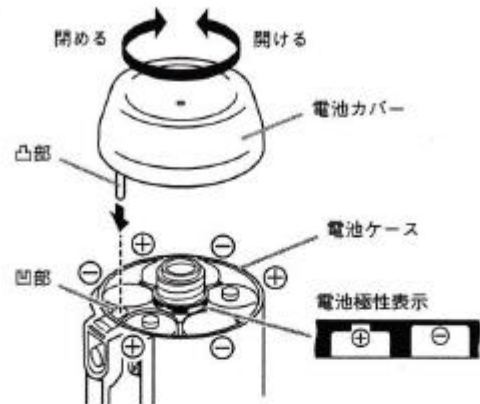
信号音スイッチ



音量大

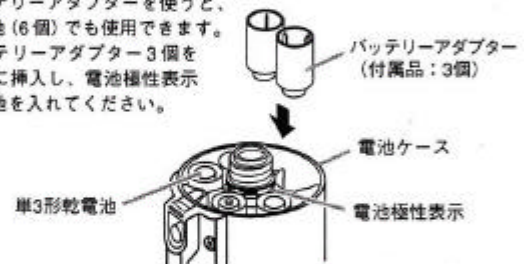
■ 電池交換のしかた

- 1 電池カバーを反時計方向に回して、電池カバーを外す。
- 2 電池収納部の電池極性表示に従って、単2形乾電池 (6個) を入れる。
- 3 電池カバーの裏側にある凸部を電池ケースの凹部に差し込み、電池カバーを時計方向に回してしっかりと閉める。



● バッテリーアダプターの使いかた

付属のバッテリーアダプターを使うと、単3形乾電池 (6個) でも使用できます。付属のバッテリーアダプター3個を電池ケースに挿入し、電池極性表示に従って電池を入れてください。



● ご注意

- 単3形乾電池と単2形乾電池を混同して使用しないでください。電池の発熱や液漏れなど故障の原因となることがあります。
- 単3形乾電池を使用する場合の電池持続時間は、単2形乾電池使用時よりも短くなります。

■ 使いかた

⚠ 注意

- マイクのトークスイッチを押す前には、必ずボリュームを最小にしておいてください。
- 音量テストをするときは、スピーカーを地面に向けて行ってください。

- 1 マイクハンガーからマイクを外す。
- 2 トークスイッチを押しながら、ボリュームでハウリング (キーンという音) が起こらないように適当な音量に調節する。室内など音の反響が多い場所ではハウリングが起こりやすいので、特に電池が新しい場合はボリューム目盛りを最大まで上げることができません。ボリューム目盛りの位置は、中間程度を目安に音量を調節してください。
- 3 マイク送話口から1 cm程度の距離で、大きめの声で話す。
※ マイクを離し過ぎたり、小さな声で話したりすると、音量不足になることがあります。

マイク収納時のご注意

ボリュームを最小にしてから、マイクハンガーに差し込んでください。ボリュームを上げたままの状態に収納すると、マイク着脱時に不用意にトークスイッチを押してハウリングを起こすことがあります。